

新設授業科目 改善策（ 開講科目名： インターンシップ実習 ）

担当教員名【 鍛治幹雄（社会連携担当） 】

①カリキュラムの改善点、②シラバスの改善点、③授業形態の改善点、④配布資料の改善点、⑤学生への対応の改善点、⑥TAのあり方の改善点、⑦その他の改善点 などの観点項目を参考にご自由にお書きください。

10社の職場訪問と5社が来学しての講義形式の授業を行ったが、概ね好評でよかったのではないと思われる。

出席回数とレポートによって成績評価したが、レポートにも肯定的なものが多かった。

学生は概ね熱心に参加した。特に事前に目的意識をもった学生は、質疑応答など熱心であった。

訪問先や日時、他行事との関連で訪問先に人数のバラツキが大きかった。職場訪問は、午後半日を要するものが多かった。例えば祭日、夏休みなどに実施するなどの工夫も必要か。

15社との事前交渉、授業の中身の調整打ち合わせなど、かなりの時間、手間がかかった。また、バスの手配、学生の集合（遅れる学生、無断欠席）などに手間がかかった。

学生の集合、引率などにTAが活躍し、たすけられた。TAは必須である。

各社は非常に好意的で協力的であり、大変にありがたかった。